

# 女子学生の情報整理方法に基づく情報記録システム

Information Organizing Method based on Female Students

○山中敏正\*, 徳弥生\*\*

\*筑波大学

\*\*吉田ブラ工業株式会社

## 1. 概要

本研究では女性のスケジュール管理のなかで、手帳の果たす役割が大きく、かつそれは、男性の使い方と異なっているのではないかという問題意識から始まった。まず、女性（女子学生）が普段スケジュール管理に使用しているメディアを調査した。その結果、73%が「手帳を使っている」と答え、これは男子学生の33%に対して大きな差であり、そこには、PDF、パソコン、携帯電話等のスケジュールツールが普及していながら、アナログな手帳が支持されている理由があると考えた。そこで、女子学生の使用法を調査し、独特の使用方法和情報処理の方法を探った。

## 2. 予備調査

大学生80名（女子42名、男子38名）に対しスケジュール管理に利用しているメディアを調査。その結果、女子73%、男子33%が手帳を利用。男女ともに、2番目によく使われるものは脳記憶だが、3番目が携帯電話となる。女子でPDAを使うケースはなかった。次に、実際に利用している手帳を調査した。調査は9名に対して行ったが、システム手帳形式のものを使っているケースは皆無で、ノート形式のカレンダー/時間表形式のものが多かった。スケジュール部分は、手帳面積の44~94%を占めその他のほとんどの部分はノート欄として使われていた。

## 3. 調査

女子学生の手帳の使い方を調査するために、予備調査に基づき調査手帳を設計し1週間の試用後回収して分析した。ここでは、7名の被験者を得ることが出来た。調査結果から、手帳に書き込まれた内容として39項目を抽出し、その目的として29カテゴリーを設定した。これらの対応関係をもとに、数量化理論III類1)を用いて傾向を評価した。

## 4. 結果

1-3軸の固有値に大きな差が見られないことから、3軸までを解釈した。その結果は以下のようにまとめられた。

### 1) 第1軸—社会的予定と自己健康管理

「欠席」や「提出期限」等の一般的・社会的予定と「健康」「ダイエット」が対極を成し、自己健康管理と社会的予定は、相対するものであるという事が伺える

### 2) 第2軸—確認することと強調すること

この軸では、覚えておくための強調処理、つまり実行前に書かれる事柄と、確認であり、実行後に書かれる事が対をなす。すなわち、第2軸では、確認することと強調することが相反して表されている。

### 3) やりたいこととできたこと

この軸には、確認すべき予定ではなく、意志を伴った計画と実行確認が対をなすことがわかる。すなわち、意図の表現が表れる軸であると考えられる。

それぞれの要素に対して、特徴的な表記を確認することができた。

## 5. 結論

3軸の特徴を「女子学生手帳の特徴」にまとめると、以下ようになる。

- 生活項目があり、社会的予定と平行して記録される
- 強調のつけられるメインの項目と、付けられない付随項目がある。
- 書き込まれた後の手帳は、リマインダーもしくはメモリアルとして活用されること。
- 日記の使用法
- 加飾性がある

| 社会的予定と生活項目の比較 |                 |                 |               |           |             |             |                |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------|-------------|-------------|----------------|
|               | 目的              | 例               | 付属項目          | 手帳に書かれる割合 | 意識度         | 書かれるタイミング   | 効果期間           |
| 社会的予定         | 時間や約束などの予定を実行する | バイト時間、持ち物、ノルマなど | 詳細事項、強調、チェック印 | 61%       | 高い。強調されやすい  | 実行前であることが多い | 即効性があり、活用期間は短い |
| 生活系項目         | 身体や精神面の充実       | 食べたもの、日記など      | 詳細事項          | 18%       | 高くない。強調されない | 実行後であることが多い | 効果は悪いが、活用期間は長い |

## 参考文献

1) EXCELによる調査分析入門; 杉山和雄, 井上勝夫他; 海文堂;